



あなたの声を市政に 地区懇談会

問い合わせ 自治振興課 ☎2142

自治会連合会は、住みやすい地域づくりを実現するため、まちづくりについて、市長と直接話し合う「地区懇談会」を開催しています。

平成25年度は9地区で開催されました。今月は、栄A地区、立戸地区、黒川地区の内容（一部抜粋）を紹介します。

栄A地区（平成25年11月6日 南栄1・2丁目集会所）

岩国大竹道路について

問

朝と夕方は栄町地区の国道2号がとても渋滞しており、また、南栄1・2丁目集会所前の交差点では事故が多発しています。通勤時間帯は非常に車両が多く、通学路でもあるので危険です。

岩国大竹道路が完成すると道路事情が変わると思いますので、国・県に対して、早期にこの事業が完成するように強く働きかけていただきたい。

答

国道2号の慢性的な渋滞解消のため、

中市立戸線の進入禁止について

問

両国橋が新しく架け替えられると、油見トンネルや中市立戸線の交通量も多くなり、危険度も高くなります。油見トンネルを出て2つ目の信号を朝7時から9時までと16時から17時まで左折禁止に、立戸郵便局前交差点の大竹駅方面行きの車線を同時に右折禁止にし、地域住民は許可書の発行で通行することができないでしょうか。また、市外の方の通行が多いので、玖波青木線側に迂回するよう指導もお願いしたい。

答

大竹警察署の交通課に確認したところ、ご質問のような規制は、地域住民の総意による同意があれば可能とのことでした。ただし、地域住民も規制の対象になります。

また、許可書は通行禁止の場合に発行しており、進入規制のみの場合はあまり発行したことがないとのことでした。許可書は個人が申請することとなり、3年更新となります。

地域の思いは十分理解できますが、現時点では通行に対する規制がありませんので、効果的な指導方法がな

め、バイパス機能として岩国大竹道路が計画され、現在、大竹市側でも用地買収を進めています。

この事業の早期完成のため、岩国市、和木町と共に期成同盟会を結成し、国土交通省を始め、地元選出国会議員、広島県、山口県などに対して、積極的な要望活動を行っています。その際、国からも地元からの強い声

が、事業推進の後押しになると助言をいただいています。この度、自治会や民間企業により早期完成に向けての署名活動（※）が行われましたが、こういった取り組みは力強いバックアップであると感じています。

今後も、官民一体となって、岩国大竹道路の完成に向けて尽力したいと思いますので、ご協力をお願いいたします。

※平成25年10月に自治会連合会や商工会議所で署名活動に取り組み、1万4924人（自治会連合会分1万3772人）もの署名が集まりました。この署名は、要望書とともに平成25年12月に、国土交通省本省へ提出しました。

いのが実情です。

まちづくりについての意見交換の場

立戸地区のまちづくりについて

○清掃は地区をきれいにすることでありますが、協力して助け合うことで絆をつくることでもある。市職員に話したら賛同して8人が地区清掃に参加してくれた。一緒に清掃することで信頼関係が生まれた。○老人クラブで地区の高齢者、地区の皆さんに集まってもらい「いきいきサロン童謡教室」を開催し、地域の繋がり、絆を深めている。○立戸地区には坂道の上に団地（住宅）があるが、高齢者が通行しやしい平らな滑らない道にしてほしい。

黒川地区（平成25年11月13日 黒川会館）

黒川地区の市営住宅について

問

黒川地区内の市営住宅の整備計画、空地や空家の管理はどうなっていますか。

JR大竹駅東口整備事業について

問

JR大竹駅東口整備事業は、栄町地区においては非常に関心の高い事業です。平成30年度の完成が目標となっていますが、1年でも早い完成をお願いします。

答

平成23年度末に「大竹駅周辺整備新構想」を策定し、この中の目標・基本方針に基づき、現在、駅の橋上化に伴う自由通路の計画見直しなど、JRなどの関係機関と協議を進めています。周辺のまちづくりの核となる橋上駅および自由通路の早期の完成に向け、引き続き努力していきます。

まちづくりについての意見交換の場

栄A地区のまちづくりについて

○小瀬川は、魚が集まる場所を作るなど、ひと工夫で素晴らしい川にできるのではないかと思います。○栄町地区は工業地帯のイメージが強く、子どもたちが親しめる水辺ではない。緑を増やすなどの整備をしてイメージを変えてほしい。

答

岩国大竹道路整備事業の進捗に伴い、御園2・3号棟の移転を早期に進める必要がでてきたので、御園6号棟建設を先行して進めています。黒川アパートの建設計画については、御園6号棟完成後の市営住宅入居状況や社会経済状況をみながら検討したいと考えています。黒川住宅については、市営アパート等への移転を勧め、解体できる家屋から解体していきます。空地については、現在市営住宅の管理を委託している第一ビルサービスが各市営住宅を定期的（最低月1回）に巡回しており、必要に応じて草刈りなどの管理をしています。

大膳川環境美化について

問

大膳川とその堤にかなり草が生えているので除草していただきたいのですが、大膳川、堤の管理は、それぞれどのようになっているのですか。

答

大膳川は、砂防施設である堰堤や護岸といった工作物を県が管理し、河床の土砂や草などについては市で

○小瀬川の遊歩道を東栄までつなげれば、歩く人が増え、人が行き交う場所になると思う。

○住みよいまちにするためには、人とのつながりが大切だと思う。栄町に人が集える場所が増えたらいいと思う。

立戸地区（平成25年11月7日 立戸集会所）

玖波青木線について

問

立戸2丁目から3丁目にかけて玖波青木線の道路の拡張工事が止まっていますが、今後の予定はどのようなになっているのでしょうか。

答

雨水対策のこともあり、将来的には都市計画道路として整備する必要性・重要性は高い路線であると認識しています。

しかし、現在は他の街路事業に取り組みしており、この進捗状況等を考慮しながら検討したいと考えています。

なお、昭和61年頃、事業実施に向けて用地測量等を実施しましたが、地元の合意が得られず、断念した経緯があります。

管理しています。

○要望の河床や護岸の草への対応は、河川の流水を著しく阻害したり、護岸などの施設が損傷を受けたりするよう状況となった場合は、県や市で除草などの対応を行います。隣接する市道にかかる草は状況に応じて、適宜除草しますが、河川内の除草は現時点では河川管理上の必要性がある状態ではないと判断しています。

なお、環境美化という観点から、これまでのように地元で河川内の除草清掃を継続していただければ、雑草などの処分は以前と同様に対応させていただきたいと考えています。

まちづくりについての意見交換の場

黒川地区のまちづくりについて

○大膳川の両側に1メートルくらいの歩道をつけて、錦龍の滝まで歩いて行けるようにしてはどうか。

○年齢層別に若い人のグループを作って、長期的に活動してみたい。何年も継続すれば、何か変化が生まれると思う。若い人を中心にまちづくりを進めたい。

○多くの人が玖波青木線を散歩しているが、ライトなどを持って歩けば、少しは明るくなって子どもが安心して帰れると思う。